

流山市水道事業基本計画 (案) (流山市水道ビジョン) 2021-2030

～市民への安全な水の安定供給をいつまでも～

将来的に、北千葉広域水道企業団からの受水だけで市民のみなさまへの水が足りるようになるまで、いかに井戸水を適切に利用できるかが大きな課題です。

現在は人口が増えています。今後減っていくのにはどう対応するのですか？

受水だけで水が足りるようになるまで、適切な管理のもと井戸水を利用します。

- ・西平井浄水場の次亜塩素酸注入室の更新
- ・井戸の適正な管理による取水量の確保
- ・渇水時に備えた対策の充実

どんなときも安全に安定的に水を送って欲しいのですが大丈夫でしょうか？

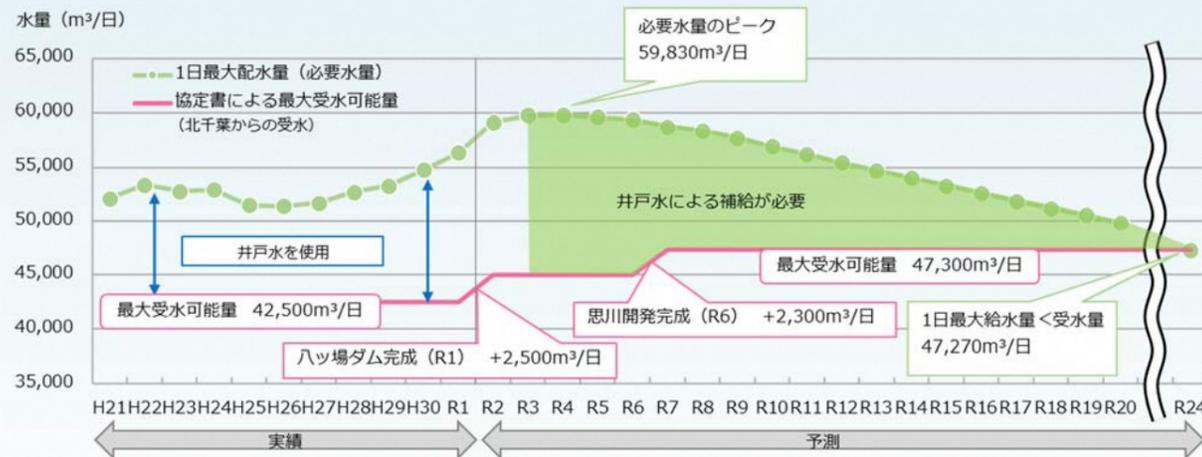
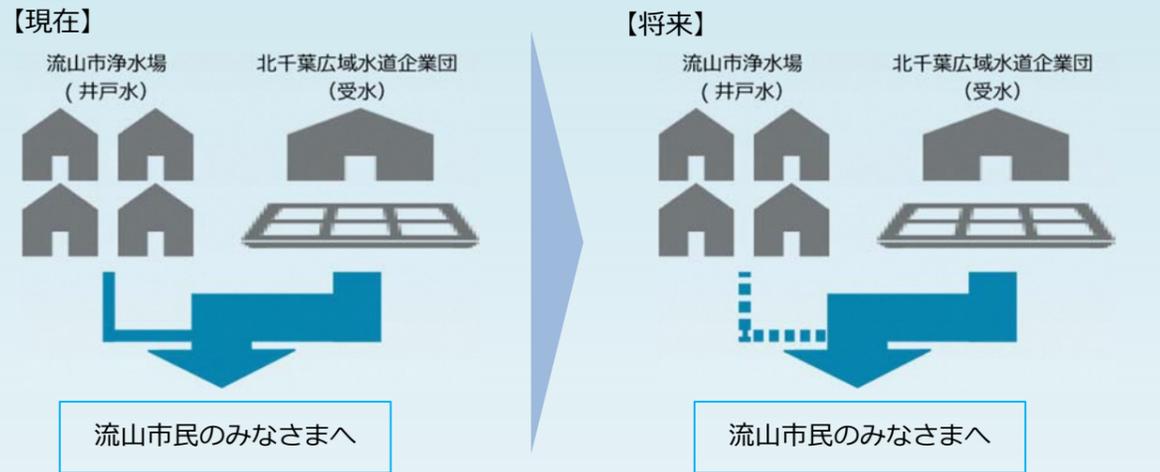
施設・設備・管路などを計画的に更新し、修理して、安全性を確保します。

- ・おおたかの森浄水場の配水池の新設
- ・基盤となる基幹管路の建設の推進
- ・施設や設備の計画的な更新
- ・配水管の計画的な更新と耐震化
- ・中央監視システムの更新

これからも、健全に経営を続けるために、どんな工夫がありますか？

効果的な外部委託の活用などと人材育成の両輪で、効率のよい経営を進めます。

- ・東部浄水場の廃止による費用削減
- ・外部委託の活用継続による費用削減
- ・確かな技術の継承
- ・経営戦略に基づく経営の努力



【課題を乗り越えることで想定される流山市の将来の姿】

- 計画的に施設・設備・管路などの更新・修理を進め、確かな技術力のもと、安心・安全な水を飲み続けていただけます。
- 災害や渇水が起きても、大きな断水などが生じず、事前準備による迅速な対応で被害を最小限とすることができます。

将来にわたって、流山市の水道が安心・安全に提供できるよう、このたび「流山市水道事業基本計画 (案) (流山市水道ビジョン) 2021-2030」を策定しました。市民のみなさまの声をもとに、さらによりよい計画にしたいと考えておりますので、内容をご覧になり、積極的にご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。